婦人と新社會

山田わか主筆

三月號

大正九年二月二十三日第三種郵便物認可
昭和三年二月二十三日印刷納本

政體の一形式としてのデモクラシーと
社會の一形式としてのデモクラシー
女性美に附て
第一回の普選に直面して
試驗撤廢が問題の解決でない
人間は一人で生てゐきるのでない
——編輯の後——

昭和三年三月一日發行　第九十六號　每月一回一日發行

東京　婦人と新社會發行

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

政體の一形式としてのデモクラシーと
社會の一形式としてのデモクラシー

完全なデモクラシーとは普通選擧であると云ふことは云ふまでもありません。で、普通選擧になつた我が國は完全なデモクラシーになつたわけです。けれども、これは、唯、單に政府の一形式であつて、この形式が有効に運用されるには社會の形式がデモクラシーにならなければなりません。

社會自身がデモクラシーでなく、唯、政體ばかりがデモクラシーであると云ふことは、政府の支出が莫大になるばかりで國民の期待に添ふような政治はとれません。デモクラシーの政府の支出に付て米國の例を擧げて見るならば、一七九一年から一八〇〇年までの政府の費用は一八〇〇年の人口を基礎として一人あたりが十三弗であつたに反して、一九一一年から一九二〇年までの政府の入費は一九二〇年の人口を基礎として一人あたりが四百二十五弗になつてゐます。けれども、それ程費用をかけてゐるわりに國民に滿足を與へてはゐないのです。

たとへて云ふならば、家庭を電化することは便利には相違ないが、併し、莫大な電氣料金とくらべて見ると、却つて、不便になると云ふのと同じです。

そこで、どう云ふ社會がデモクシーの社會かと云へば、國民が實質に於て公平無私で公德を重んじ私生活に關しては政府の干渉などは一切受けない程に開發されてゐなければならないのです。

今のようなプロがどうのブルがどうの役人がどうしたのと喧々囂々してゐて、しかも市政の紊亂などを市民の力で整理出來ない、否、しようともしないと云ふような實狀であつては、デモクラシーの政治を施いてそこから利益を得ようとすることは樹に魚を求めるようなものではないかしら。

國を善くして行くものは普通選擧ではなく、國民の公平な心と實行力であると云ふことが切に考へられます。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

女性美に附て

『美しくすると云ふことは女性の第一の義務である。なぜなら、女性は人類の理想の有形な體現、卽ち、眞、善、美の統一體である。實に凡ての男性が欽慕し、崇拜する眞善美の三位一體は女性である。』と、現代社會心理學の大斗は申ます。

けれども、女性の外部の美が人生の凡ての價値の表象であるとしても、もし、彼女の內部の美が其の外部の美に一致してゐない時には、それが男性を皮肉家と爲し、彼を絕望に陷れ、殘忍な人間にしてしまうかも知れません。

が、その內部の美とは何でありませう。それは女性の目のうちに耀いてゐる溫和の光り、彼女の手を動かす優しさであります。この溫和の光りと優しさが美人の內容の眞髓であつて、そして、これは凡ての男性が求めて止まない處のものであります。

もし、この二ツの性質が備つてゐないならば女性の外部の美はチリアクタ、又は、泥灰に等しい。否、それは男性を僞り、世を欺く詐欺であります。或ひは、それは、造物主が人間を翻弄する最も殘酷ないたづらであります。

美しい婦人の笑顔は此の世界に於て最も有勢な力であります。それは此の世界を明るくもすれば陰慘にもする。世界を創造もすれば破壞もします。實に、此の偉大なる力の貯へ所が女性であります。そして、これが人間生活の悲喜劇の源となつてゐます。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

○

愚劣な女が、唯、無茶苦茶におしやれをするのを見て、それに反感を持ち、女性の外部の美の勢力は全體としての女性の墮落であると主張する向きもありますが、一がいにさう云つてしまつてはいけないと思ひます。前にも云つた通り、女性の美の勢力は非常なものであつて、そして、此の力は凡て外の力と同じように善い目的にも惡い目的にも使用されるのでありますがとにかく、此の偉大な美と云ふ勢力は、その美に伴ふ責任と云ふことを婦人がまだ自覺してゐない年頃に婦人に與へられると云ふ處に問題があります。

　この力の未知の偉大さが此の美の勢力を弄ぶように若い婦人を誘惑します。そして、その誘惑に引き入れられることによつて、婦人は彼女自身を彼女の周圍を害ひ、自他共に大損害をこうむることがあります。

　女性が彼女の美に伴ふ責任を了解することなく、その力の偉大さに興味を覺へて、其れを弄ぶことは井戸の中へ毒藥を投げ込むのと同じに不道德な行爲であると云ふことを若き女性は悟らなければなりません。

○

　男女の間の差は、唯、生理上の差だけであると云ふ誤まつた指導者の言葉を信じてはなりません。男性女性の差と云ふものは非常に細やかで、そんな容易な定義によつてかたづけられるものではありません。男性女性の差は非常に深いと同時に非常に重要なものです。

　ですから、女性の男性化程人類にとつて大きな損失はありません。女性は何處までも女性らしく、そして、偉大な女性にならなければなりません。氣象の勝つた婦人に對して『男まさり』

の女であるとか、「男性的な女性」であるとか云ふ言葉は、人間的價値を男性標準に見て女性の特色を全然無視した、そして、女性たる價値を侮辱した言葉であります。

又、結婚は、男が自己の利己主義のために婦人に强いた束縛であると云ふ一部の指導者の言葉も誤まりです。結婚の存在は婦人及び子供を保護するのが目的です。一夫一婦の結婚は男女の最高な知力が婦人及び子供を保護するために考へた最善の工夫です。

一夫一婦の結婚制度を廢することは婦人のために不幸と墮落を必ず意味する。女性が男性に飜弄されることを必ず意味します。

○

性的關係の自由を叫ぶ人々は「一人の男と一人の女が相互に喜びを與へ得ると感じる時に、何故に、その二人の男女が外の理由のために、相互に接近することを愼しまねばならぬか？相愛する二人が相接近することを外の事情のために阻まれると云ふことは不自然ではないか」と質問します。

この質問に對する答へは二重になります。その第一は、彼等の主張するような意味に於ける自然と云ふことは結局不自然になつてしまうのです。それは人間の人間たる精神的要素の一切を無視して、野生の愛に服從することになるのです。つまり、自然は人間に精神的に向上して行くように命じてゐるのに、その命令に反逆して、唯、一時の野生の愛にひきづられると云ふことは不自然であるのです。

彼等の主張は、身だしなみをして人に逢ふのは不自然であると云ふのと同じ意味になります

身だしなみをすること、知識を獲得すること自己を精錬する可能性を拋棄して差し當りの性

の要求に従ふことは不自然であります。

性の要求を高尚にすることが生活の凡てを高尚にする第一條件であります。そして、性の要求を高尚にすると云ふことは或る制限を意味します。

我々人間の性生活は我々の生活の凡ての外の部分と密着に織り込まれてゐます。ですから、我々の生活を性生活の部分と外の生活の部分とに切り離して考へることは出來ません。にも拘らず、長い間我が國の男子は、これを別々にして考へてゐました。「いゝ人だけれども女にかけては」と云ふようなことを云つて、其の人の不品行と其の人の人格とを別にしてゐました。此處に大きな誤謬があり、はかり知られざる不幸が潜んでゐました。

○

それから、前の質問に對する第二の答へは、婦人は、容易に男性と生活を一ツにすることによつて、自分自身を醜穢にする。男の目から見た自分自身の價値を無にしてしまいます。

多くの努力を拂つたものにのみ人は價値づけるように人間の性質は出來てゐます。安い代價で買へるもの、容易に手に入るものに人は高い價値を認めません。が、いろ〳〵の制限に出逢つたり、長い間の努力を經た後に到達し得た性生活は非常に滿足的なものであり、精神的にゆたかであるに相違ありません。

もう一言つけ加へて置きますが、肉慾と嫌惡は甚だ接近して人間性のうちに存在してゐるものです。ですから、容易に異性に接近するのを習慣としてゐる男は常に肉慾と嫌惡の間を往來してゐます。そして、それは女性を侮辱した男の言葉のうちに明瞭すぎる程明瞭に現れて居ります。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

○

文化が進めば進む程、人間は益々大きな幸福を享有し得る筈であるのに、その反對に益々不安が大きくなり不幸の度が益々深刻になりつゝあると云ふ、今日の此の現狀は何を意味して居るのでせう。

これは、物質的文化即ち男性的文化が精神的文化即ち女性的文化を壓倒してしまつてゐるからです。そして、精神的即ち女性的文化を物質的即ち男性的文化と對峙せしめて猶あまりあるものと爲し、今日の此の不安と不幸を除去し、一般の幸福に資する處あらしめようとするには全體としての女性が、天の賦與した女性美の眞髓を知り、そして、女性としての美と氣品の發揚に先づ努力すべきであります。

第一回の普選に直面して

『固い地殼を破つて新しく生れた普選時代』などゝ云ふ言葉が盛んに使用され、新聞紙上の賑かなこと、まるで世の中がひツくり返へるかのような騷ぎです。

だが、調子に乗つておまつり氣分のから騷ぎをして、選擧のすんだ後で得る處のものは、ただ、疲勞と目立つ浪費とでは無いか、云ひ直せば、『普通選擧の特色が一體何處に現れたらう』と云ふような結果に終りはしないか。

なぜなら、制限選擧から普通選擧になつたからと云つて國民が急に聰明になると云ふことは考へられないことだとは前號にも一寸書いて置

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

きました。

　國民が政治に如何に無知で無關心であるかと云ふことは、今までの事實が明らかに證明してゐます。日本國中で最も優秀な人間が集合してゐる筈の東京の市會の狀態は何ですか？　東京市會の別名は伏魔殿であります。

　其の頭上に伏魔殿をいたゞいてゐることを重々承知してゐながら其れを取り除けようともしない、どんな惡いことをされても、どんなに踏みつけにされても、何等の痛痒を感じないらしく、御目出たい顏していつも同じ人間を市會へ送つてゐるのが東京市民であるのです。

　一國の中央に住む東京市民でさへこう云ふ鈍感者であるのです。地方に住む國民がどう云ふものであるかは押して知るべしではありませんか。

○

　私は殊更に聲をあげて普通選擧に反對しようとする者ではありません。が、今更私が云ふまでもなく、普通選擧と云へば、國民が國民自身を治める政治である筈です。國民の生活を圓滑ならしむるために存在するいはゞ國家の事務所なる政府を國民が監督する位置にあるべき筈です。事務所に働く事務員即ち內閣員が惡いことをしないように、眞面目に事務を執るように監視する位置に國民が立ち得るようになつてこそ本當に國民が國民自身を治め得る政治、即ち、普通選擧は有効です。

　けれども、いよ／＼普通選擧期に入つた時の實狀は何でせう。政府は、やれ訓示だの、命令だの、檢察方針の指示だの、取締り規則だのと云ふものを頻發して、しかも、お辨當代はいくらを越へてはいけないの、候補者と從屬關係の者が應援演說をしてはいけないのと、そのくだ

〱しさは噴飯の至りでした。

あんなにもくだ〱しい規則を見るにつけても、思ひ合はされるのは、我が國民は、まだ、自分の住んでゐる家の中の掃除(大掃除)までも其の筋の世話を受けなければならない程、それ程、自治の念を缺いてゐると云ふことです。

自分の家の中の仕末さへも自發的に出來ない人間が、どうして國家的自治の能力を備へてゐると思へるでせうか?

○

政府が選擧取締の嚴正公平と云ふ名の下に實にやゝこしい訓令を出せば、それに對して、又民政黨側では、選擧革正會を組織して選擧取締を監視しようとする。すると、又、政府側がその監視員を監視しようとする。そして、

「スパイ政治の醜態暴露」などゝ新聞に騒がれてゐました。

東京驛前丸の内ホテルに於ける選擧革正會の發會式に警察の高等視察が變裝して秘密を探ぐりに忍び込んだことは實に陋劣且つ卑怯ではありますが、併し、民政黨が其の監視員なる者に警視總監や警務部長や警察署長や其の他刑事達の古手を使用したと云ふことも同じく陋劣卑怯でありました。

○

確かに普通選擧は正義であります。國が議會政治を採用してゐる以上、普選に到達しなければならないと云ふことに付ては議論の餘地はありません、が、まだ、その正義なるものを國民は自覺して居りません、普通選擧だとは云つても、國民の生活に男子よりもより重要な關係にある婦人が除外されてゐても、平氣で居る程、それ程、國民はまだ正義の念を缺いてゐます。まだ〱「蒼い地殼を破つた」處ではない。その

地殼は益々厚くかたくならうとしてゐるのですから、徒らに宇頂天になつてゐる時ではないと云ふことを私は一言云ひたいのです。

○

世の中に何故社會問題があるかと云ふと、云ふまでもなく、それは人間が惡いからです。がこの問題に對してスピノザは申ます。『善いとか惡いとか云ふことは道德的の贊成不贊成と云ふことで哲學的の問題ではない。社會問題がある所以は人は生れながらに社會的であるにも拘らず、其の社會的傾向が人間性のうちにあまりに稀薄だからである。猿や虎に繩を付けて置いても仕方がない。人間は政治的動物である。動物に相違ないが、併し、猿や虎をはなす意味に於てはなさなければなるまい。が、やつぱり、猿や虎を取扱ふつもりで取扱はないと間違ふ。今日の我々は所謂自然人なるものを見て微笑するが、併し、したいほうだいをし、云ひたいざんまいを云はふとするのが矢張り今日の人間で、其れをさせて置けば文句はないが、させなければいろ〳〵な理窟をならべる。』と。

我が國第一回の普選も亦、此のしたいほうだい、云ひたいざんまいに唯終つてしまつたのでなく、たとへ、一人でも適材を適所に送ることが出來たならば望外の幸福です。

試驗撤廢が問題の解決でない

『入學試驗撤廢の祝賀會』と云ふ文字を一月二十九日の諸新聞紙上に見て私は異樣な思ひが致

しました。なぜなら、試驗が撤廢されたからと云つて入學難の禍患は一分一厘も減じてはゐない。否、減じてゐない處ではない、今、中等學校に子供を送らうとしてゐる多數の親達は却つて不安の念を高くしてゐる時に當つて、當局側のみがお祝ひ氣分とは實に不思議だと云ふ氣持ちがしたのです。

が、記事を讀んで行つて、招待を受けた肝腎の中等學校長側が『何等祝賀すべき意味もない』と云ひ缺席を決議し、公私立中學女學校長百三十八人のうち僅かに十八人だけが任意出席するだけで全部同盟缺席することになつたと云ふ記事を讀んで、私はさうあるべき筈だと思ひました。

なぜなら、問題は試驗其のものではなく、學校の收容力と入學志望者の數との差にあるので其の差のために自然生れたものが試驗制度ではありませんか。であるのに問題の本もと即ち根幹を其のまゝにして置いて、其の枝葉の所を切り拂ひ、それで禍患の一切が除去されたような顏して御祝ひ氣分になると云ふことは、何にかためにする處があつての祝賀會か、さうでないとすれば、主催者側の頭の惡さかげんを驚かずには居られません。

○

試驗を撤廢することにしたからと云つて、學校の收容力に五六倍もの志願者が押しかけるので大困りの中學校長は結局從來の制度を踏襲する形だと云はれ、某府立中學校長は『かう云ふ風に決定するまでには文部省と再三再四交涉したのであるが、その交涉の度每に當局の態度が變るので私達も困りました。それで結局筆記試問をしてもよいと云ふことになつたので……』と云つてゐるではありませんか。まと外れの問

題解決法を講じて中學校長ばかりでなく當局も大困りで居る樣子がありありとうかゞはれます

○

もし、又、その聲明通り、試驗が全然撤廢されるとしても、多すぎる志願者のうちから少數の入學者を選定するにどう云ふ方法をとるかと云ふと、要するに、籤でも引かなければならないでせう。そして、一本の籤に幸運悲運を定められる其の不安にいたいけな若い心を戰かせることは其の有害なこと試驗勉强と大差ないでせう。

私は、今迄實行されてゐた試驗制度に全部贊意を持つてゐる者ではありませんが、併し、それは籤引きよりは優るものだと考へます。なぜなら、試驗があるとすれば、先づ『自分に實力がありさへすれば』と云ふ奮發心も起るし、又實際に實力を持つものは安心して居られますが併し、籤引きだとするとどんなに實力があつても安心してゐることは出來ない。不安は全部のものであるし、僥倖を狙ふ氣を養ふことになるし、且つ、又、苦しまぎれに不正手段を案ずるようになると云ふことは火を見るよりも明かです。

現に、名のある中學校長の門前や內申書を書かねばならぬ小學校長の門前は文字通りの市をなしてゐると云ふではありませんか。

○

皮肉なことに今年は中學校ばかりでなく、小學校の入學難を新聞は報導してゐます。所謂名流や上流階級の親達はその子のためにお茶の水高師の附屬や、各師範の附屬を憬れの的としてゐて、靑山師範附屬小學校で男女八十名の入學者に男三百十名女百八十名合計四百九十名の志願者が押しかけてゐます。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一月二十七日に可憐な幼國民に籤を引かせたり、身體檢査を行つたり、メンタルテストをしたりして、學校當局者は云つてゐます。『何分志願者が多く四百九十名に對し僅か八十名しか入學が出來ないので、入學不可能の四百名が他の小學校へ入る便宜上、特に試驗期日を繰り上げてゐる次第です。』と。

そして、この青山師範附屬小學校であふれた四百名の兒童は、恐らく、不就學に終ると云ふことはなく、どこかの學校に皆這入るものだとすると、此處に私共は問題解決の少なくとも一端は摑み得るような氣がします。

○

つまり、親の虛榮心から最初は世間で一番評判のいゝ學校へ大浪のようになつて押しよせる。そして、その大浪が其處で少し小さくなつて、その次の學校へ押しよせる。そこで、更に少し小さくなる。それからそれへと幾つかの學校を通過してゐるうちに、最初、怒濤のような大浪であつたものがだん〱小さくなつて、ツイには消へてしまう、即ち、どこかしらの學校へ皆納まつてしまうと云ふのが事實では無いでせうか? この見方は眞理の全部ではなくても、確かに、その一部であるように考へられます。そして、要するに、いたいけな子供達が親の虛榮心の犧牲になつてゐるのだと觀測されます。

○

ですから『入學難』と云ふことは要するに『親の虛榮心滿足難』とも云はれると思ひますが、いづれにしろ問題はまだ一分一厘も解決されてゐない、今、教育者達並びに當局者がお祝ひ氣分になど浸ることは正しくないと思ひます。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

人間は一人で生きてゐるのでない

この世の中に私達はひとりで生きてゐるのではないと云ふことを私達は先づ悟らなければならないと思ひます。「私」と云ふことの代りに「私達」と云はればならぬ場合ひが多々あることによつても其れが證明されてあります。

私達の生活は他人からの影響を受け、他人によつてかたちづくられ、他人によつて幸福にも不幸にもされるように、私達自身が又他人に影響を與へ、他人の生活をかたちづくり、他人の生活を幸福にも不幸にもしてゐます。ですから私達は自分達の環境と云ふことを考へずには自分達の生活と云ふものを滿足的には考へることが出來ません。

寶石は其の寶石がはめこまれる臺が必要です。又、繪畫の背景と云ふものが其の繪畫自身の精神を完成もするし破壞もしますが、人間を寶石とし又は繪畫として考へるならば、人間の臺又は背景は社會です。ですから、青年男女が其の社會と如何なる關係をつけるかによつて其の男女の生活の成功不成功は定まります。つまり、青年男女自身の社會的關係が其の青年男女の運命を定めるのです。

そして、その社會的關係とは家庭、學校、働く場所及び、休養所に於て絶へず起つて來る人と人との關係です。

○

一個人の性格の上に、及び、彼の生活の成功不成功の上に重要なる影響を與へる時は、仕事に從事してゐる時よりも遊んでゐる時です。くり返へして云ふならば、一人の人の人格は働いてゐる時に於てよりも遊んでゐる時に於てより多く造られるのです。

人間の善惡も働いてゐる時に於てよりも遊んでゐる時に於てより明らかに分ります。働いてゐる時は一定の規定の下に皆同じような仕事をしてゐますが、遊ん

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

でゐる時は誰でもが自分の自由意志から自由な行動をとつてゐるからです。

そこで、若き人々のためには友達の種類が無限に重要であると云ふことが明らかになります。

○

本當の意味の友達と云ふのは、友の内部に潜んでゐる最善な性質を發見し、それを尊敬し、その性質を伸してやろうとする心がけを持つことです。友の持つてゐる貴い性質を最高にまで向上させることを喜びとしその性質が覆はれてしまうことを悲しみとすると云ふのが眞の友情です。

が、これに反する外の種類の友達があります。そして、往々にして此の種類の友達の方が多いものです。即ち、この種類の友達とは、友の人格の向上と云ふようなことなどには無頓で、唯、刹那的な歡樂に友を引き入れ利用しようとする友達です。さう云ふ友達は自分の友にどんな弱點があつてもどんな缺陷があつても其れをとがめようとはしない。一定の標準にまで向上しなくても失望もしない。唯、その時々が面白く過ごせれば其れで滿足してゐる。こう云ふ種類の友達が若き人々にとつては最も危險です。こう云ふ人物と常に親密にしてゐるならば必ず墮落させられずにはゐません。

○

人格を向上せしめようとはせず、自己の經歷に輝きあらしめようともせず、唯、一時の快樂を追ふて其の日々々々を送つて居たのでは、それは動物の生活と同じです。

人間らしい生活を營まうとするならば、私達は此の人生に對して一つの確固たる態度が必要です。

そして、その態度とは、我々が持つて生れた能力と知力は天から我々に託されたものであつて、これは必ず充分に發達させればならぬ義務が我々にあると感じ自分自身を教育し制戟し、かくして自分自身を有益な社有の一員と爲すことです。

で、もし、青年男女がかくの如き態度を持つならば自分の友としては又さう云ふ種類の人物を選まなければなりません。無意識のうちに人は友達の影響を受け

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

るものです。友達によつてもの丶見方が、殊に、道徳的の見方が變つて來ます。話す言葉の上にさへも友達の影響は現れて來ます。

〇

一體、人は常に或る精神的のにほいを周圍に發散してゐるものです。それは如何なるものかと云つて定義を下すことは出來ませんが、とにかく、私共は人と接觸する時に善い感じか惡い感じかを必ず受けます。即ちその人は善いにほいか惡いにほいかを發散してゐるのです。そして、善いにほいを發散する人と接觸した時には丁度庭を歩いてゆかしいかほりに接觸した時と同じ心持ちになり、何とは無しに喜ばしく、人間であることに光榮を感ずるのに反して、惡いにほいを發散する人に接觸した時には、私共は呼吸をもひかへたいような、早く其の空氣から遠ざかりたく思ひ、人間であることがなさけないような心持ちになります。

〇

私達はゆかしいかほりを發散する人間となりたい。一働き人として、一國民として一社會人として、有益な人間となり、私達の背景となつてゐる家庭及び國家に光輝を添へたい。それを人生の目的として生きて行きたいと思ひます。

編輯の後

今度の總選擧に戸別訪問が無かつたことは實際各家庭にとつては大きな救ひでありましたが併しあの子供だましのような意匠のポスターが東京全市を覆ふたのを見て苦笑を禁じ得なかたのは恐らく私ばかりではなかつたでせう。

新聞は好んで此の選擧を全民衆の總意と云つてゐますが、併し、所謂其の總意のうちには婦人の意志が全然加はつてゐないこと、又、男子のうちにも自分の意志を代表させる候補を發見し得ないで困つてゐたものもあります。「全民衆の總意」の現れることはまだ〳〵前途暸遠であります。

本誌定價表（臨時）

一册	金十錢	送料五厘
六册	前金五十五錢	（送料共）
十二册	前金壹圓	（送料共）

昭和三年二月廿三日印刷納本
昭和三年三月一日發行

東京市四谷區南伊賀町四一
編輯兼發行人　山田嘉吉

東京市牛込區若松町五四
印刷人　大杉直次郎

東京市四谷區南伊賀町四一
發行所　婦人と新社會
振替東京五三六八八番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN